

# かぎた 美智子

Kagita Michiko



## 学校規模適正化

# データに基づき現実的なまちづくりを

奈良市議会の鍵田美智子は令和4年度の市議会活動の中で、地域に押し寄せる少子化を受けて市が公共施設の統廃合や適正化を図ることについて、議会の場で質問・提案を続けてきました。特に少子化で小学校の教育施設として維持ができない「過小規模小学校」の統廃合については「将来の試算データや現実を見据え、地域にプラスアルファをもたらすまちづくりを」と要望、地域との対話と立体的なまちづくりビジョンを求めました。

## 反対のための反対ではなく、向き合う計画

市は若草中学校区にある鼓阪小学校と佐保小学校を統合する計画を持っていきます。住民基本台帳を元にした市の試算では鼓阪小の全校児童数が令和9年度に65人

を機に行政と地元の対話による新しいまちづくりの形や将来像を描くことが必

要だと考えています。「現実と将来に向き合う」まちづくりです。

私はこれらの数字やデータが示すよう、社会的に避けられない人口減少や少子化の要因に伴う学校規模適正化に対し「反対ありきの反対」で非現実的な向き合い方をするのではなく、こ

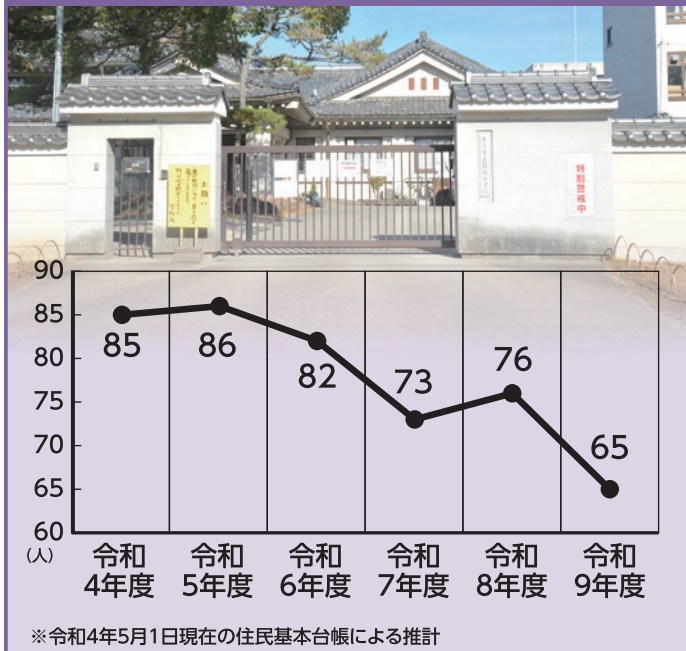


## 鴻ノ池や監獄ホテルと立体的なビジョン

市は現在、鴻ノ池運動公園一帯のまちづくりを計画しています。また奈良少年刑務所跡地は、星野リゾートが日本初の「監獄ホテル」として来年(令和6年)夏の開業を目指していくことが決まっています。

これら鴻ノ池運動公園、奈良少年刑務所のまちづくりに加えて、隣接し、統廃合計画が進められようとしている鼓阪小学校の敷地や建物をどのように活用し、地域へより良い提案や質を高めていく「プラスアルファ」に向けて行政にはたらきかけることが、重要です。

鼓阪小学校の児童数推移





昭和35年1月1日

近畿大学附属高等学校 普通科 卒業

大阪デザイナー学院服飾科 卒業

国際エステティック連盟 INFAschool日本校 卒業

資格

ホームヘルパー 2級

職歴

西奈良中央病院 訪問介護課  
株式会社RoundKey 代表取締役

## クリーンセンター長寿命化

# 10年間の安定 操業を目指す

市が七条地区に新築、移転を計画しているクリーンセンター（ごみ焼却場）は当初、近隣市町の5市町（奈良市、生駒市、大和郡山市、平群町、斑鳩町）と広域化の取り組みで事業を進めていく計画でした。しかし相次ぐ市町の脱退で、令和4年度に奈良市は「組む相手がいない」単独の状況になりました。

現在の左京にあるクリーンセンター＝写真＝は老朽化が激しく、一昨年夏には準値を超えるダイオキシンが煤塵（ばいじん）から検出されたため、大阪府にある最終処分場への搬出ができなくなり、稼働を全面停止した経緯があります。

市の七条地区へ移転新築する新クリーンセンターは、令和13年度に稼働開始の予定をしていますが、これまでの間、現在の施設を安全・安心に稼働させるためのメンテナンスが必要になっています。新センターの方向性や市が目指すゼロカーボン戦略について質問しました。

市は現センターの操業を安定させて今後10年間継続に向け、具体的な保全計画を定めていくため、新年度予算では、長寿命化の関連予算1億8200万円を計上しました。また温室ガスの排出量を実質ゼロにするというゴールを目指す将来ビジョンで、新センターは再生可能エネルギーの導入施設として位置付けていくと説明しました。



# 保存と活用をまちづくりの両輪に

きたまちの文化財

「旧市内」と呼ばれるきたまちエリアには国宝の転害門Ⅱ写真Ⅱを街の中心に、世界遺産と隣接する寺社や遺跡、公園、公共施設が数多くあり、これらの文化財の保存はもちろんの

こと、活用していくことが重要で、今後のまちづくりの中、文化財の活用観の考えをたどりました。きたまちエリアは46件の指定文化財があり、市は「保存と活用を文化財保護行政における車の両輪としてとらえていく」とし、古民家の公開や歴史体験「イベントの開催などを通じて有効活用していきたい」と答弁がありました。



「保存と活用を文化財保護行政における車の両輪としてとらえていく」とし、古民家の公開や歴史体験「イベントの開催などを通じて有効活用していきたい」と答弁がありました。

鼓阪地区は、食料品店が強く求めました。



ドリームランド跡地

# 周辺のまちづくりと共に

鴻ノ池運動公園整備、旧奈良少年刑務所のホテル事業と隣接するドリームランド跡地Ⅱ写真Ⅱの活用について、市の意向を問う、地域と連動して市の積極的な検討を求めました。

市は「ドリームランド跡地は30畝の広大な私有地（民間所有）であり、さまざまな土地の利用規制があることから、市としては部分的な利用は難しいと考

新年度予算には、鼓阪小学校と佐保小学校Ⅱ写真Ⅱを統合し、新たな小学校を建設する費用が盛り込ま

まれています。この小学校の命名や開校スケジュール、今後の鼓阪地区への行政的支援について質問しました。

統合後の新小学校

# 今年度から建設準備



私は、この地域周辺のまちづくりが総合的に、また一体的に進めていくことができるよう、市のリーダーシップと、地元の意見や要望の反映を求めました。

市は新しい小学校の名前は、両地域の協議会が立ち上がった後、教育委員会から案を提示し検討していくと説明。今後のスケジュールは、今年度に基本設計、実施設計、プールの解体、発掘調査を行い、令和5年度から令和6年度にかけて校舎と体育館などの建設を行っていきま